

## blousonite.com

## 公文書の問題



教育文化施設にて

## 公文書の問題

## 表面



役場

公文書の問題が話題となっているので、自治体の公文書について書きました。

## 6月議会の質問

## 裏面

機材の保存について質問をしました。



議場

## 地域パトロール

以前から参加してきました地域パトロールは、防犯ステッカーを使ってのパトロールに変更になりました。

## ビスケットの日程

体験教室を中心に行っています。

## 編集後記

半年ほど前でしたが、「日本の文化を広める会」という日本の文化を広めるための会（そのままですね）のお手伝いに行きました。お手伝いと言っても受付の隣あたりにいただけなのですが、主として子どもに抹茶体験をしてもらうのが目的です。会自体は盛況でしたが、子どもの体験となると難しいですね。

外国人労働者の数は増え続けていて、外国人観光客の数も多くなっているのですが、異文化体験的な意味での日本の文化の重要性は高くなっているはずですが、実態としてその担い手は、減少しているのが現実です。

財務省で公文書改竄の問題が発覚しました。財務省自体はこの点は、認めて関係者の処分をしています。朝日町の公文書については、以前に一般質問で朝日町行政に質問しています。これは、保存の仕方などについてです。その時の行政からの回答では、管理については、適正していると言われ、市町村合併の公文書なども残してあるとのことでした。昨今の事情を感じると今更ながら、質問をしておいてよかったと考えています。

公文書について質問をしたのは、私が市町村合併についての学術的な調査をした経験からです。その時にデータとして、北勢の市町に公文書の開示を求めました。これは、誰でも資料を請求できます。その時に、公文書が残っていない市町が多かったことに驚きました。これは「廃棄した。改竄した。」というのではなく、誰も把握していない状態なのです。役所の担当者に聞くと、「探したが見つからなかった。」「あると思うが、どこにあるかわからない。」「段ボールか何かの箱に入れて、どこかの倉庫に眠っていると思う。」「廃棄したかどうかはわからない。」「おそらく廃棄したのではないかと思う。」という返事でした。財務省も酷いと思いますが、地方自治体の方が、問題があると感じています。

保管がされていないことがなぜわかるかといえば、保管がされている町の資料が膨大で、そうでな

い町の資料は圧倒的に少ないからです。市町村合併の資料は、朝日町ほどの大きさの町で本棚一つくらいあります。当時の住民説明会のアンケート（個人の自筆）や職員の勉強会のアンケート（個人の自筆）、その集計結果から、他の市町村や県へのファックスまで、保存してあります。率直に言って「こんなものまで公文書として保存しているのか。」と驚くほどの種類と量があります。管理が正しくなされている町では、それくらい的大量の資料を見ることはできません。朝日町はこの点は正しく保管されています。そのため他の市町村で、市町村合併の資料のファイルが数冊しか残っていなければ、あきらかに保存をしていないことがわかります。

市町村合併は10年から20年の長期で考えるべき事業です。そもそも、市町村合併の計画自体が「10年後にこのような町にする。」「10年で合併事業として施設を建設する。」という約束も多かったと思います。その意味では、20年前に終わった話ではなく、20年前に決めて、現在まで継続している話なのです。その検証をするためには、公文書は必要不可欠です。市町村合併は市町村がなくなるかどうか、というかなり大きな問題です。その公文書の保管もできないのにそれ以外の公文書の保管ができるとは思えません。